北海道名寄市における基本計画の概要

計画のポイント

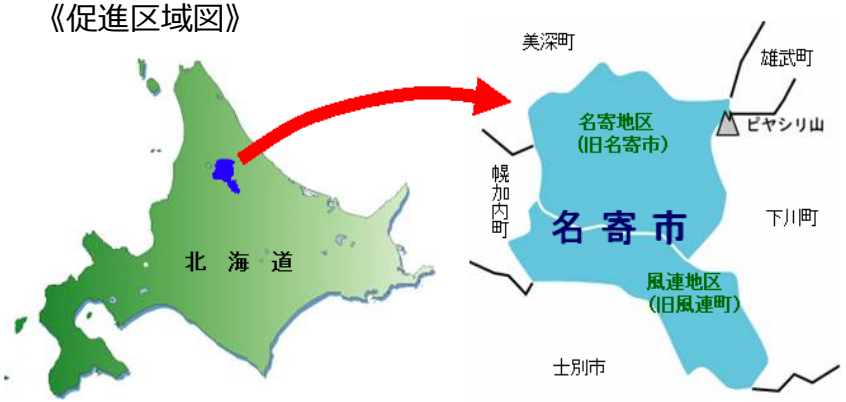
名寄市は、第一次産業である農業・畜産業が基幹産業であり、「もち米」は作付面積・生産量日本一を誇り、令和3年農業産出額は約104億円となっており、付加価値向上に向けた取組、農林業と商工業が融合した産業の振興を図っている。また、地形・気候が生み出す“良質な雪”を活用して、冬季スポーツ拠点化プロジェクトでは合宿受入・冬季スポーツ大会の誘致により交流人口の拡大、観光客の誘致促進を目標に施策を展開している。経済元気化プロジェクトにおいて地域経済の振興を図っているほか、自然環境を活かした環境・エネルギー関連分野や交通インフラを活かした物流関連分野により、付加価値が高く地域経済に波及効果の大きい事業の創出を支援する。

こうした地域特性を活かした事業を推進し、地域企業の稼ぐ力の底上げを図るとともに取引量の増加、観光客の増加による外貨獲得を図ることで、地域産業に新たな付加価値と雇用者を生み出し経済の好循環に繋げ、地域経済の活性化を目指す。

促進区域

北海道名寄市

《促進区域図》



経済的効果の目標

・1件あたり平均47百万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を5件創出。
・これらの地域経済牽引事業が促進区域で1.393倍の波及効果を与え、促進区域で**327百万円の付加価値額を創出**することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件１：地域の特性を活用すること（①～⑤のいずれか）】
①【地域の特性】名寄市の生産量日本一のもち米等の特産物
【活用戦略】農林水産
②【地域の特性】名寄市の生産量日本一のもち米等の特産物
【活用戦略】食料品製造
③【地域の特性】名寄市の「冬季スポーツ施設」「きたすばる天文台」「ひまわり畑」等の観光資源
【活用戦略】観光
④【地域の特性】名寄市の森林資源や積雪寒冷な気候等の自然環境
【活用戦略】環境・エネルギー
⑤【地域の特性】名寄市の北海道縦貫自動車道等の交通インフラ
【活用戦略】物流

【要件２：高い付加価値を創出すること】
・付加価値増加分：4,611万円超

【要件３:経済的効果が見込まれること】
・雇用者数：1%以上増加

制度・事業環境の整備

・投資-雇用に対する助成、固定資産税の減免措置
・情報処理の促進のための環境の整備
（公共データの民間公開に関する事項等）
・事業者からの事業環境整備の提案への対応
・人材育成-確保に向けた支援　・DXの促進支援
・事業承継支援　・賃上げ促進支援　等

地域経済牽引支援機関

・名寄市立大学　・名寄市農業振興センター
・国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
薬用植物資源研究センター　・北星信用金庫
・(株)北海道銀行　・(株)北洋銀行

計画期間

計画同意の日（令和6年4月1日）から令和10年度末日まで